

## 市民説明会 開催記録

### 【市民説明会の概要】

説明会名	新火葬場候補地市民説明会
実施時期	令和2年9月23日(水) ～ 令和2年9月25日(金) (3日間)
会場及び参加人数	丹生川支所防災集会室 42人 市民文化会館4-7 23人 清見支所大会議室 23人

### 【集計結果】

意見件数	23件
------	-----

### 【意見及び市の考えの一覧】 ※説明会での回答に、市としての考えを補足して記載しています

項目	No.	意見	市の考え
3件の候補地について	1	丹生川町候補地は、高山市の農業の中心地である。これまでに他市で風評被害の例は無くても、今後のインターネット時代においては分からない。市は農業を大事に思っているのか。	第八次総合計画において、丹生川地域のまちづくりの方向性として、高冷地野菜を中心とした農林畜産業の振興を図るとしています。風評被害等に対する危惧を払しょくできるよう、環境や景観に最大限配慮した整備を行います。
	2	丹生川町候補地に賛成。火葬場建設を良い機会として、丹生川の自然や温泉などの良さをアピールしてほしい。観光や農業など、それぞれにメリットがある方法を考えれば、皆さんに納得してもらえる。	丹生川地域には、自然や温泉など魅力ある地域資源を有しています。今後とも地域の魅力の活用・発信に努めていきます。
	3	丹生川町候補地の北側の市道は途中で曲がっているため、民地も使って雨水をまっすぐ川へ排水する計画が必要ではないか。	流量調整設備などにより、市道内での排水施設整備が可能と想定しています。建設地となった際には、詳細な調査を行います。
	4	土地が無償だと吹聴されたため、多くの市民がそれなら決定的だと思ってしまう。丹生川町がはめられたという思いだ。	
	5	寄附者に対しては、何かをお返ししたいのが人情である。市が寄附者に村度はないと言い切るのとは不自然だ。	丹生川町候補地は、所有者から応募があり、その後寄附の申し出がありました。市から寄附を求めたことはありません。また、寄附を理由に特別な対応をすることはありません。
	6	寄附を受ける場合、寄附者が、市に寄附をしたことをPRには使わないとの確約を取り交わさなければ、市のイメージに影響を及ぼす可能性がある。	
	7	H30年5月の会議記録に関して、市は、全ての候補地を対象とした寄附の調査は行ってないとしていたが、丹生川町候補地の寄附について確認したのであれば、矛盾しているのではないか。	全ての候補地を対象とした寄附の意向調査は、行っていません。候補地の選考が進む中で、H30年11月に丹生川町候補地について寄附の申し出がありました。

項目	No.	意見	市の考え
3件の候補地について	8	市の中心部から一番近いので、新宮町候補地が良い。利用者の多い市街地から近い場所が良いという意見は多いと思う。	検討委員会では、市街地からの移動距離・時間についても選考基準の一つとしており、現地視察等により状況を確認したうえで総合的に検討し、3件の候補地を選考しています。建設地(案)の決定にあたっては、そうした経緯を踏まえ、様々な観点から総合的に検討を行います。
	9	新宮町候補地で、公園内に取付道路の新設を想定しているようだが、既設の林道から接続したほうが安価に整備できるのではないか。	通行時の安全性の確保等の観点から、市道旅行村線からのアクセス(東側にある既設の林道の敷地も一部利用)を想定しています。
	10	清見町候補地のすぐ近くには、県の畜産施設がある。人が集まる機会が多くなると、防疫の問題が出てこないか。県とそうした協議をしているか。	火葬場の利用者が畜産施設の敷地に立ち入ることはないため、防疫上の問題はないと考えています。建設地となった際には、県と協議を進めます。
除外した候補地について	11	パブリックコメントでは7人の方が西洞町が良いとしており、検討委員会や議会でも再三同様の意見が出ていた。こうした意見を汲み上げるべきだ。	西洞町での建設については、議会のご意見等を踏まえ、候補地に加え、周辺地域(公募以外に提供の申し出のあった土地)を含め、詳細に検討を行いました。西洞町候補地は、利用しながらの建て替えは困難であるとともに、必要なスペースの確保、アクセス市道の安全性・緑地保全の観点などの点で課題が多いこと等から、候補地から除外することとしました。
新施設の規模等について	12	火葬需要のピークに合わせて規模を決定しているが、ピークを過ぎてからの期間は過剰な規模となり、人口が減少するなか将来の負担となる。	死亡者数の推計や希望される火葬時間の状況から、火葬炉数を4基としています。炉の更新整備等は、将来負担の抑制を図るため、利用回数等を踏まえ適切に行ってまいります。
	13	待合施設が4室あるが、食事の場所は別に準備することも可能である。新型コロナの影響もあり、ニーズは変化している。寺院の関係者や葬儀社の方の意見を聞き、ふさわしい規模をよく検討してほしい。	葬儀や火葬については、多様化が予想されます。施設規模等については、不足のない数値として試算したものでありますが、葬儀や火葬の多様化に対応した施設となるよう、今後具体的な検討をすすめていきます。
	14	久々野と荘川の火葬場の老朽化により、将来的に新火葬場の負担が大きくなる。全市的に考えて、今の4基で十分であると考えているのか。	市全体の状況を踏まえ、新施設の火葬炉は4基が適切であると考えています。
	15	多目的な機能を有することと、厳かな空間という基本コンセプトが相反するのではないか。火葬場に併設した多目的ホールは、不謹慎にならないか。	多目的な機能を有している他市の施設においては、火葬場本来の目的を踏まえ、静かなコンサートなどで使われる例や、郷土の歴史文化を振り返るコーナーを設置している例などがあります。基本コンセプトに沿った施設整備を行います。
	16	参列者が交錯しないという整備方針があるが、平面的だけではなく、立体的にも考えなければ、交錯は避けられないと思う。	時間的に利用者同士が交錯しないことを想定していますが、交錯を避ける動線などについても検討します。

項目	No.	意見	市の考え
事業の進め方について	17	今後の進め方で「検討委員会における順位付けの妥当性の再確認」とあるのは、これからまたこういう検討をするのか。	検討委員会の行った検討について適切だったことを確認していますが、建設地(案)の決定にあたって再度確認を行うものです。
	18	パブリックコメントの結果では「修正します」という項目がないが、本当に修正する必要はないか。	意見の内容については、今後の取り組みに活かしていきますが、修正する内容はないものと判断しました。
	19	他市において、火葬場の建設地域の活性化策として滞在型市民農園を整備するという報道を見た。建設地となる地域では、このようなことを考えてほしい。	他市における施設整備に併せた地域活性化事業の例も把握しているため、参考とします。
	20	コスト比較について「建物に係る工事費等を除く」とあるが、含めて検討すべきではないか。用地の費用は含まれるのか。	どの候補地においても同様の建物を建てるため、建物以外で違いが出る費用(用地、造成、取付道路など)を比較することとしています。
	21	建設検討が始まって何年も経ち、新施設を待ちながら使えなかった人が多くいたはずだ。いつまでに結論を出すのか。	早期に建設地(案)を決定し、建設地(案)周辺の住民や市民の皆さまの理解が得られるよう取り組んでいきます。
	22	火葬場ができると、付近の土地評価額が下落し、資産価値が減少する。この問題にどう対応するのか。	不動産鑑定において、火葬場の立地は評価要素の一つとして考慮されますが、新たな場所に建設した場合は、周辺の道路やインフラ環境などが改善される場合が多く、地価への影響は一概には言えません。把握している他市の例では、地価下落の影響は見られませんでした。
	23	遠い火葬場の場合、時間もガソリン代もかかるので葬儀代も高くなると聞いた。差額負担は市か、利用者か。	距離と時間によってバス料金等に多少の差が出る可能性もあると聞いていますが、その差額について市が負担することは考えておりません。